

特別講師として、東京大学名誉教授 汐見稔幸先生が登壇 子どもの発達やあそびの役割について学べる 保育・教育者向け オンラインセミナーを8月6日、7日に開催

子どもの健やかな成長に寄与することを目的に教育玩具の輸入・開発・販売とあそび環境開発を行う株式会社ボーンエルンド(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:中西弘子)は、「あそぶをまなぶ」と題し、「あそび」について、学び考える場となるオンラインセミナーを8月6日、7日の2日間に渡り実施します。教育・保育に携わる方や、子育て支援や地域コミュニティづくりなどの事業に携わる方向けセミナーです。7日には特別講師として、東京大学名誉教授 汐見稔幸先生をお招きし、「子どもたちが過ごす豊かなあそび環境やコミュニティ」について講演いただきます。

40年間で蓄積した知見をもとに、子どもの発達やあそびについて共に考え学べる。



あそびと教育



ボーンエルンド

あそぶをまなぶ

ボーンエルンド オンラインセミナー



昨今、子どもの多様性を重んじ、ひとりひとりの個性にあわせた教育が必要とされています。加えて、新型コロナウイルスの影響により、子どもが遊ぶ時間や環境が制限されています。こうした中で、保育・教育現場や、子育て支援・地域コミュニティづくりなどの事業に携わる方々から、子どもの多様な成長と発達、および多様性を尊重する関わり方について理解を深めたいという声が聞かれます。

当社は「あそびの専門企業」として、創業から約40年間、世界の教育玩具の輸入販売やあそび場の開発・運営を通じ、子どものあそびと成長・発達に関する知見や親子の声を蓄積してきました。研究者との実証実験なども行っています。近年は、自治体や団体、企業と手を組んで遊環境づくりを行い、地域活性化や三世代コミュニティの創出につながる事例も増えています。

こうした知見を活かし、保育・教育やあそび環境づくりのヒントを提供したいという思いから、今回のオンラインセミナーを開催する運びとなりました。1日目は当社より、国内外の教育・保育環境、遊具の解説や、子どもを取り巻く社会課題に対するあそびを活用したアプローチ、地域コミュニティ・保育環境づくりのヒントになる情報をお伝えします。実際に世界各国の公園や教育現場、遊具工場を視察・取材を重ねている社員や、幼稚園・保育園での研修を担当する社員などより、「世界のあそびの今」をお届けします。

2日目は、特別講師として東京大学名誉教授 汐見稔幸先生と明星大学教育学部 星山麻木先生をお迎えし、子どもを取り巻く課題やこれからの社会が目指すべき、「子どもたちが過ごす豊かなあそび環境やコミュニティ」について、共に考えます。

セミナー詳細のご確認や受講のお申込みは、以下のリンクより行っていただけます。

https://www.bornelund.co.jp/page/asobi-seminar_2107

オンラインセミナー概要

- 日 時 : 2021年8月6日(金)14:30~18:00
8月7日(土)17:00~19:00
- 場 所 : Zoom ウェビナーでのオンライン開催(詳細はお申込みいただいた方へ別途ご連絡)
- 対 象 者 : 教育・保育に携わる方(教員、保育士、幼稚園教諭など)、
子育て支援や地域コミュニティづくりなどの事業に携わる方
- 参 加 費 : 6日(金)無料、7日(土)4,000円(税込)
- 定 員 : 各日300名 ※先着順。定員になり次第、受付を終了します。
- 内 容 :

・ **8月6日(金)開催 ポーネランドと考える「国内外の子育て・あそび環境と実践方法について」**

14:30~14:45	はじめに ポーネランドの事業紹介や今回のセミナープログラムについて
14:45~15:30	「世界の学び場から、育ちのヒント」 ヨーロッパの幼稚園・保育園でのあそびの実践方法や保育環境を紹介。子どもたちの育ちの場である園でのあそび道具の役割について考えます。
15:45~16:30	「ヨーロッパの教育・保育現場で選ばれている、子どもの成長を引き出す遊具」 デンマーク・コンパン社の研究事例をもとに、園庭の遊具選びのポイントを紹介。乳幼児期に必要なあそびや体の動き、発達を促すあそび環境について考えます。
16:45~17:40	「子どもの成長とあそび揃えの重要性」 発達段階ごとにあそび道具を揃える重要性と、プレイリーダーの役割について具体的な園でのプレイリーディングの実践例を交えながら紹介します。
17:40~18:00	ご案内

・ **8月7日(土)開催 汐見先生・星山先生ご登壇 「子どもと発達オンラインセミナー」**

17:00~19:00	「子どもたちが過ごす豊かなあそび環境やコミュニティ」 子どもたちを取り巻く社会課題や、これからのあそび環境のあるべき姿について考えます。 【基調講演①】 東京大学名誉教授 汐見稔幸先生 【基調講演②】 明星大学教育学部教授 星山麻木先生 【パネルディスカッション】 汐見先生×星山先生×株式会社ポーネランド副社長 中西みのり
-------------	--

- 登壇者 :

東京大学名誉教授 汐見稔幸先生

2018年3月まで白梅学園大学・同短期大学学長を、2021年5月まで日本保育学会会長を務める。現在は全国保育士養成協議会会長、一般社団法人家族・保育デザイン研究所代表理事。専門は教育学、教育人間学、保育学、育児学で、21世紀型の教育・保育を構想中。保育についての自由な経験交流と学びの場である臨床育児・保育研究会を主催。同会発行の雑誌『エデュカール』の責任編集者も務め、学びあう保育の公共の場の創造に力を入れている。



明星大学教育学部 星山麻木先生

東京大学大学院医学系研究科(母子保健学)博士課程修了。保健学博士。日本音楽療法学会認定音楽療法士。一般社団法人こども家族早期発達支援学会会長、星と虹色な子どもたち代表。乳幼児の特別支援や母親のための支援プログラム開発、音楽療法、特別支援教育などをテーマに、療育センターや各種教育機関にてセッションや授業を実践。NHK Eテレ「すくすく子育て」や「ウワサの保護者会」、「発達障害の子どもたちとともに」に監修出演。



ボーンエルンド副社長 中西みのり

マーケティング、商品、企画・設計・デザイン部門を統括。1992年から5年間、ロンドンの大学でマーケティング、デザイン、建築を学ぶ。1999年にボーンエルンド入社。当社運営の遊び場「キドキド」や「プレイヴィル」のほか、東京ドームシティ「ASOBono! (アソボノ)」、東日本大震災をきっかけに生まれた福島県「ペップキッズこおりやま」など、全国各地のあそび場を企画・プロデュース。コロナ禍でも子どもが遊ぶ機会を奪ってはならないと、世界中のパートナーと協働中。



【ボーンエルンドについて】

ボーンエルンドは、あそびを通して子どもの健やかな成長に寄与するため1981年に設立し、一貫して“あそびの道具と環境”を提供する事業を展開。一般家庭へ向け、子どもの成長に必要な生活道具としての“あそび道具”を提案、全国73ヶ所で店舗を展開しています。同時に幼稚園や保育園、公園などに高品質な大型遊具や教育道具の提供を含めたあそび環境の開発を行っており、現在までに手掛けた実績は国内約3万5千ヶ所まで拡大しています。また、2004年からは、子どもが遊ぶ機会を増やすために、親子一緒に様々なあそびを体験できる屋内あそび場「キドキド」事業をスタートし、現在では全国18ヶ所、年間約200万人、さらに「キドキド」のノウハウを取り入れた地方行政の屋内あそび場を含めると全国約50ヶ所、年間350万人以上の親子が訪れています。

【報道関係の方のお問い合わせ先】

株式会社ボーンエルンド 広報室
担当: 西山、村上

TEL: 03-5785-0860、080-5901-3591

e-mail public-relations@bornelund.co.jp

【一般の方のお問い合わせ先(ご掲載用)】

株式会社ボーンエルンド

TEL: 0120-358-518(月~金 10:00~17:00)